

新年号



介護あんしん 相談員だより

第26号 平成29年1月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

明けましておめでとうございます。
昨年は、介護あんしん相談員の受け入れに
ご理解いただきまして、ありがとうございました。
本年もよろしくお願いいたします。

介護あんしん相談員は橋渡しをする事を目的としています！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、
直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。
介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接
は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見えづいた
りした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつかをご紹介します
(平成28年10月・11月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：前回訪問時に実施されていた、地域の方を施設に招いての体操は、その後
継続されていますか？

施設：9月から毎週水曜日に開催しており、現在まで継続して8回続いています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの施設では鳥栖市と緑生館の作業療法士・理学療法士さんの協力で開発された
「とすっ子体操」を取り入れて、施設利用者やその家族、また地域の方と一緒に体操をさ
れているそうです。

地域の方は、毎回平均5～6名の参加がある為、今後も意欲を持って参加していただ
けるように、体操だけではなく市職員の話の聞いたり、緑生館の先生に体力測定をしてもら
ったりしているそうです。その取り組みの中で、ご利用者様と地域の方との触れ合いがで
きています。

また、施設では地域の方からのちょっとした相談も受けていますので、今後も地域の相
談にも対応できる場所になればいいと、とても意欲的に取り組まれています。

地域密着型の施設での取り組みとしては、とても参考になるのではと感じました。



～利用者さんの声より～

利用者：この施設が大好きです。

施設：寂しい方の方で、極力部屋を訪問し話を聴くようにしています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



病気のため、施設と入院を繰り返されている方で、今は体力的にも離床は困難な方だ
そうです。

こちらの利用者様は、医師や息子さんの前では弱音を吐かれないしっかりされた方だそ
うですが、相談員には安心してお話をしていただいたのでしょうか。

施設スタッフの方が、利用者様に寄り添って話を聴いて、対応して頂いている姿がうか
がえます。ありがとうございます。

涙ぐみながら「スタッフの方がよくしてくれるので、この施設が大好きです。」と本
音がでたのでしょうか。相談員はしっかりそのお言葉を施設にお伝えさせていただきました。

利用者：かぼちゃ作りが楽しかった。

施設：施設北側には花壇や畑のスペースがあり、そこでかぼちゃを育てていまし
た。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



「かぼちゃが15個位採れたよ。このかぼちゃを使って皆でおやつを作った。まだ小さ
いのあるから、あと10個位採れるかも。職員さんにあげようかな。」と相談員に話され
たそうです。

こちらの施設ではかぼちゃが沢山収穫できて、今月の誕生会では、そのかぼちゃでおや
つを数種類作り楽しまれたそうです。

利用者さんが、野菜や花を育てられる環境なのは、とてもいいですね。しかも収穫した
野菜を施設でお料理されて、みなさんで一緒に食べることができ、野菜を育てた方も大喜
びされたようですね。



わたしたち、介護あんしん相談員は一人一人の小さな思いを、お伝えします。